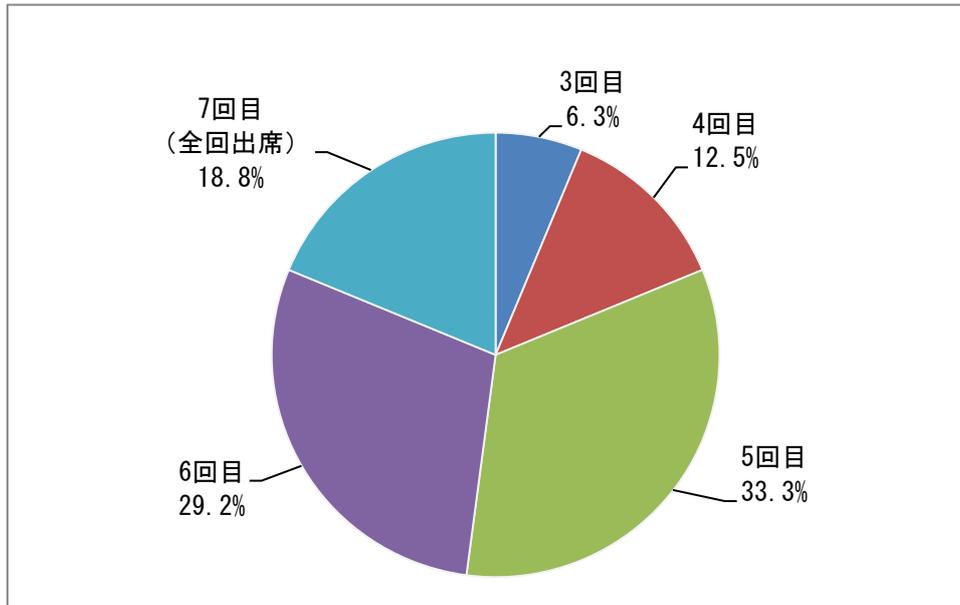


第7回 逗子の未来協議会 アンケート結果

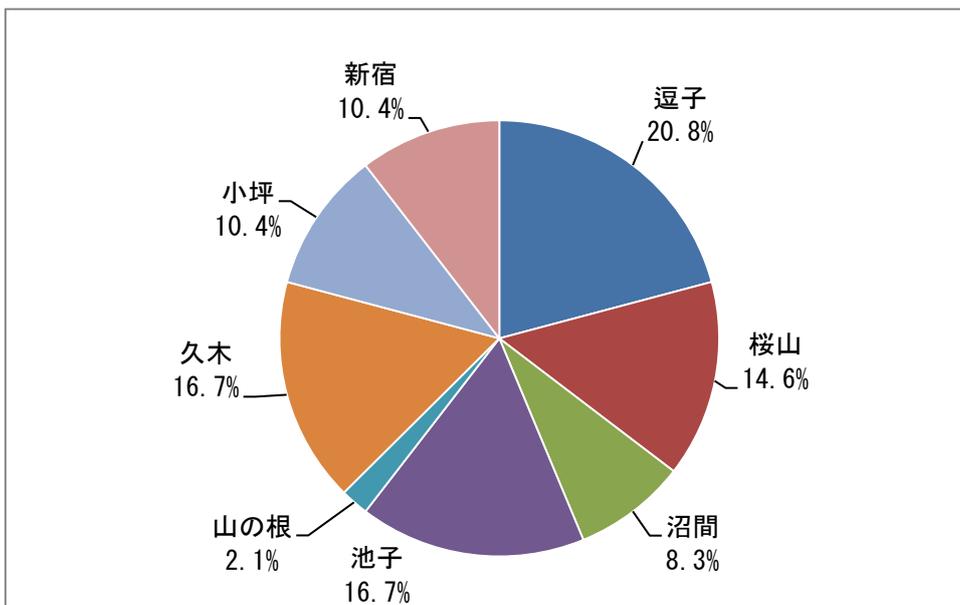
実施日：平成29年1月21日（土）

回収数：48（回収率100%）

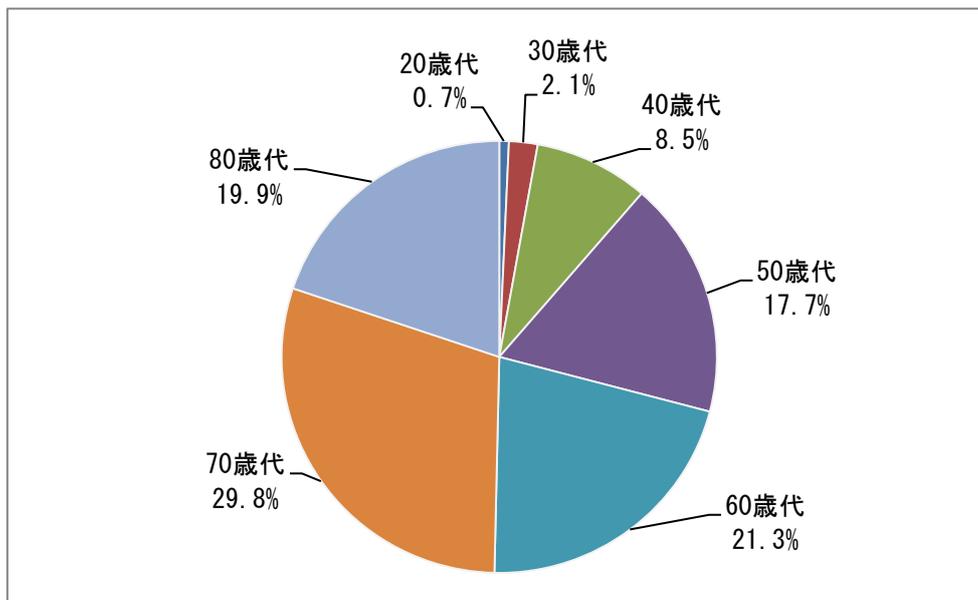
1 第7回参加者の参加状況



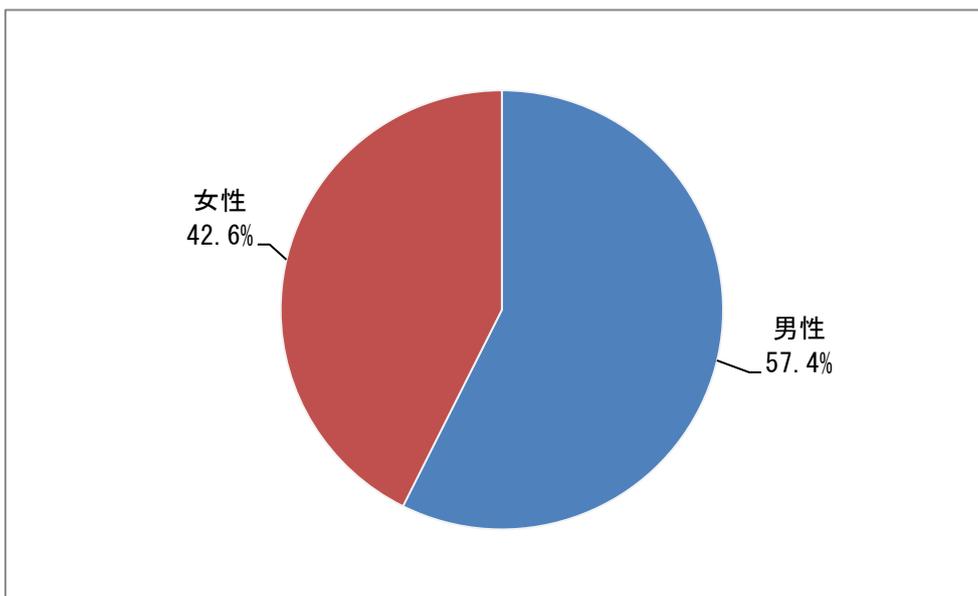
2 第7回参加者の居住地



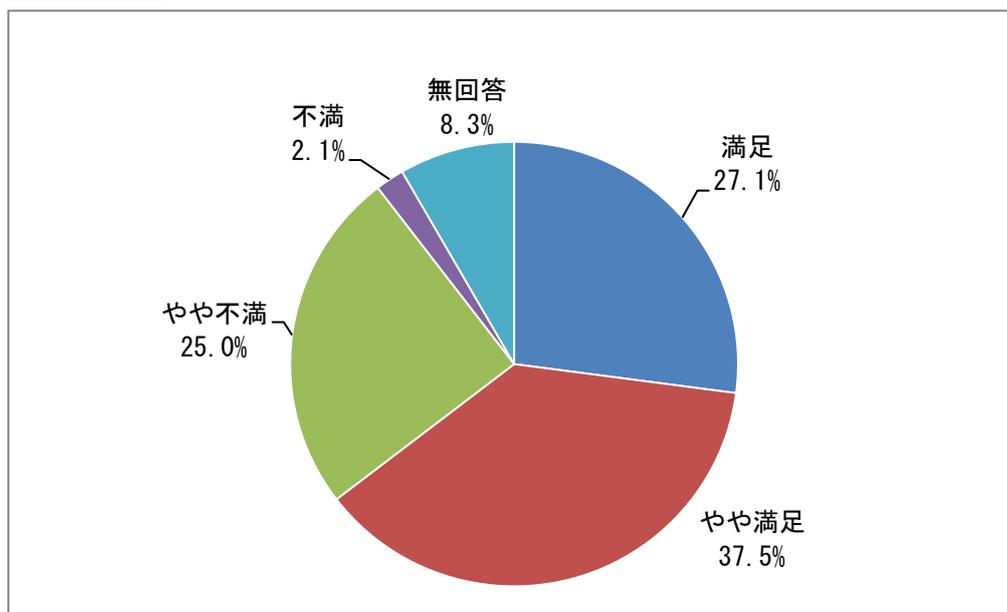
3 第7回参加者の年代



4 第7回参加者の性別



5 第7回の感想



【「1. 満足」を選択した理由】

- ◆ WSのファシリテーターの力量がもっとあると良い議論になると思います。
- ◆ グループワークは盛り上がり、有意義な議論ができました。
- ◆ さまざまな視点での考え方を聞くことができた。
- ◆ 情報というテーマで何も思い浮かばなかったのに、話を始めるとどんどんと意見が出はじめ、とても有意義な時間だった。
- ◆ グループワークで中身・内容のある話し合いができた。
- ◆ 活発な意見交換ができた。
- ◆ 情報共有の大事さを知ったこと。
- ◆ いろいろな意見が聞けた。
- ◆ 個人的な問題ではあるが、欲しかった情報を知ることができた。ex:ホームドクター等
- ◆ 回も重なり、意見・内容も多くなってきた。
- ◆ 会員の人たちの友情。市の職員の対応。
- ◆ ①情報共有で大切なこと どのような形でデータベース化するか
②年齢によってそれにアクセスできる人、できない人（受け方の手段をもたない）があるので、この点を考慮する必要がある。

【「2. やや満足」を選択した理由】

- ◆ 途中参加でしたので②です。
- ◆ 次回ワークショップのお知らせテーマが大まかすぎる。大まかすぎて、当日の話し合いがまとまらない。テーマとアジェンダをもう少し事前の回に教えてもらいたい。
- ◆ 議論のコア部分は明確になったが、具体策までに至らなかったため。
- ◆ 話し合う時間も十分でした。
- ◆ 情報共有、改めて考えてみると難しい問題でした。

- ◆ 議論の論点が明確でなく具体的な内容・深化にならなかった。
- ◆ ワークショップ自体は最初の頃、こんな感で意見を出し合えるのかと少し面白いと思っていたが、なかなか自治基本条例を作るということにつながらないので全体の説明を一回して欲しいかな。
- ◆ 課題が茫洋(ぼうよう)としていた。しかし、班でいろいろ話のできたので良かった。
- ◆ 回を重ねるたびに難しくなってきますが、いい勉強になります。
- ◆ 議題から外れた質問等、余計な時間が流れてしまったような気がする。
- ◆ 6名でのディスカッションでしたが、全員それぞれ意見を出し合い、各自治会活動の交流の大切さを確認できたこと。
- ◆ 「情報共有」というテーマを今日取り上げたことの意味の説明があればもっと意見を出しやすかった。
- ◆ 前回も述べたが、時間が不足である。
- ◆ テーマが難しくなってきたが、議論することに解明が深まる。
- ◆ 共有する情報は何なのか？未来協議会の期待する情報は何なのか。この判断がバラバラ。

【「3. やや不満」を選択した理由】

- ◆ ワークショップのテーマ、進め方が以前に比べ難しくなり、結果としてまとめにくく感じます。
- ◆ 最終的には参考になる内容もありましたが、グループワークで話し合う内容や付箋に書くべき内容が漠然として分かりにくく話し合いに参加できませんでした。前々回参加の時にも感じたのですが・・・。参加するのが億劫に感じる時間でした。
- ◆ 最初はテーマが漠然としすぎていたが、話し合いのヒントを頂いてからは議論が活発になった。WSのテーマをポンと投げ出すのではなく、もっとかみ砕いた説明をしてほしい。
- ◆ 事前に課題として考えてきてほしいことを明示して欲しかった。今日は「必要な情報」を出すのに苦労してしまった。
- ◆ 課題がややつかみにくかった
- ◆ やさしいようで難しいテーマだったからしょうがないが、消化不良だ。
- ◆ 前回までと今回の流れが把握しにくかった。終了時間を厳守して欲しい。
- ◆ 情報共有の前に、本日は「情報が何か」ということ（前段階）に引っかかって進みにくかった。
- ◆ WSのテーマの認識と把握が十分できなかつた（取り組み方が難しい）
- ◆ テーマの絞り方、問題あり。焦点ぼけになった。
- ◆ 地域自治というとき、何を地域としてとらえるべきか。どのような自治活動が必要とされているか（これも地域性があってよい）。その根本を考える機会が欲しい。

【「4. 不満」を選択した理由】

- ◆ 前半の市の情報公開制度等の説明時間が無駄であった。今回のテーマとは直接結びつかない。

6 今後、ワークショップで話し合いたいテーマ

- ◆ テーマではありませんが、WS の参加者の内訳が高齢男性に偏っているので、バランス良く参加者数をコントロールした方が良いと思います。参加者のトータル数より実際の人口分布（年齢、性別）に沿った内訳にしてください。声の大きい人の意見だけ通るのは納得がいきません。
- ◆ 一度、ファシリテーターやWS の進め方について考えてみると良いかと思いました。
- ◆ 議員の役割と仕事
- ◆ 教育現場でのいじめ、子どもの貧困など弱い立場にある子どもの問題。
- ◆ 自治基本条例の危険性などを知りたい。
- ◆ 市民が理解しやすい文書とは？
- ◆ コミュニティ（自治体・町内会の役割、今後の方向性）のあり方
- ◆ 議員の参加が望ましい（そろそろ）
- ◆ 自治の基本とは何か。
- ◆ コミュニケーションとは何か（抽象的・具体的には）
- ◆ 条例の「たんぼ」を何に求めるのか。
- ◆ 私は、このワークショップに議員さんの参加も必要ではないか。
- ◆ 市民参加と市民協働
- ◆ ワークショップの議論の順番は、
総則－自治の基本原則（自治の定義）－自治の参加－市政運営－市政運営→市政と自治の関係 等々経った。
- ◆ 市の財政の現状と今後の見通し。改善目標手段の具体例。それに関連する人口減少への対策。
- ◆ 町内会/自治会の強化と今後の進むべき具体的方向性
- ◆ “最低敷地面積問題” はどうなったのか？
- ◆ 現在市内の地域自治活動の実態を知りたい。
例) どのような目的、どのような自治活動グループがどのように成り立ってきたか、そこでの課題、問題解決などの事例を知りたい。
- ◆ 2月に地震の訓練がありますが、逗子市としての考えを知りたい。